

人道団体のための気候・環境憲章と イノベーション

気候変動の影響による災害の多発化や激甚化が現実のものとなった今、気候と環境の危機は、人類の未来を脅かす人道上の危機となりつつあります。

2021年5月、国際赤十字の主導のもとで多くの人道支援団体が議論し「人道団体のための気候・環境憲章」を策定、人道支援団体が環境に配慮した支援を行う努力をすることが明確に示されました。

今回の国際活動フォーラムでは、国際赤十字が主導した気候・環境憲章と、取り組みが始まっているイノベーションに着目して、私たちのこれからの国際活動・赤十字活動を考える機会とします。是非ご参加ください。

主なテーマ・キーワード：

- 人道団体のための気候・環境憲章とグリーン・レスポンス
- 日本赤十字社の国内外救援におけるイノベーションの可能性等

登壇者：

中出雅治

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 国際医療救援部門長
大阪赤十字病院国際医療救援部長

曾篠恭裕

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救援技術部門長
熊本赤十字病院国際医療救援部 救援課長

司会・進行：

佐藤展章

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 国際救援部門長
日本赤十字社国際部 次長



太陽光発電で空気中の水分から水を作る装置を動かし（完全オフグリッド）育てた「玉ねぎ」
©大阪赤十字病院



世界初の燃料電池医療車（実証モデル）
©熊本赤十字病院

令和5年11月10日（金）

9：00～10：30

第2会場

京都市勧業館みやこめっせ
B1F 第1展示場 A

緊急報告 イスラエル・ガザ人道危機

～何が起きているのか、何ができるのか～

赤十字の視点からの報告

国際活動フォーラム内でご報告します